

応急手当の基礎学ぶ

大通 第1回救命講習会

【大阪】大通（松本望社長、柏原市）は13日、藤井寺市立市民総合会館で第1回救命講習会を開催。本社、八尾営業所の従業員を中心に24人が参加した。

松本社長はあいさつで、「今年から救命講習をスタートさせる。これまで事故防止に様々な取り組みをしてきたが、実際に事故が起きた際の対処方法を学んでこなかった。こ

こ数年、当社の事故は確実に減ってはいるがなかなかゼロにはならない。事故ゼロを目標さないとい

う対処すれば良いかを理解しておけば、さらに事故減少につながるのではない



柏原羽曳野 藤井寺消防組合の隊員を講師に招き、参加者はテキストやビデオ教材を用いて応急手当の基礎知識を学んだ。また、人形を使っ

てできるようになって欲しい」と理解を求め、さらに、「各事業所へのAED（自動体外式除細動器）の設置を、今夏をめどに完了させる。将来的にはトラックにも導入していければ」と方針を述べた。

心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸）、AEDを実際に使った実践的な訓練なども行い、参加者からは真剣なまなざしで実技講習に取り組んだ。講習後には、修了証が発行された。

（中野秀一）